

未来提言会議開催概要（報告）

1 開催趣旨

第7次総合計画の策定推進方針に従い、「子どもの目」での議論の一つとして高校生による議論を行う。高校生が「多治見がどんな“まち”になったらいいか、そのためには何をしたらいいか」というテーマについて議論し、今後実施すべき政策・施策について提言する。

2 開催日時等

日時：平成27年3月21日（土）
午後1時30分～午後4時
場所：多治見市役所駅北庁舎

3 参加者

多治見高校 6名（男4名：女2名）
多治見北高校 6名（男4名：女2名）
多治見工業高校 6名（男4名：女2名）
多治見西高校 6名（男0名：女6名）
合計 24名（男12名：女12名）
※見学者 7名

4 提言内容（抜粋）

1 グループ

テーマ 『若者の街 たじみ』

概要

若者がいない街に、若者が帰ってきたいとは思わない。若者を増やすためには、若者が集まる場所が必要。現在の駅周辺は歩行者が少なく、とても寂しい状況。駅周辺を整備することにより、歩行者が多い、活気ある場所とする。



市の将来人口や総合計画についての説明



グループワーク



2 グループ

テーマ 『教育革命』

概要

カリキュラムの見直しや英語教育の充実など、多治見だけの特色ある教育を実施することにより、「多治見で教育を受けたい」と思われる街を目指す。教育を多治見市のセールスポイントとし、人口増加につなげる。



3 グループ

テーマ 『人が集まるまち』

概要

人が集まるまちを目指し、6つの提言を行う。

- ①映画館など遊ぶ場所をつくる、②注目される祭り(イベント)を増やす、③大学を誘致する、④働ける場所を増やす、⑤グルメのまちをPR、⑥うながっぱを活用したPR。



4 グループ

テーマ 『名古屋とは違う街 暮らしやすい街』

概要

「名古屋のような街」を目指しても意味がない。本当に必要なものは、映画館やショッピングモールではなく、市民が暮らしやすい環境である。保育園・幼稚園の充実、交通アクセスの改善、公園整備など、市民にとって必要なものを充実させる。